



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月12日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagova-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 輝喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3001

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	9,810	△1.9	25	△38.8	70	△18.5	49	△20.9
28年3月期第1四半期	10,004	3.0	42	53.7	86	△5.5	62	△5.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.79	—
28年3月期第1四半期	3.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	14,776	12,399	83.9
28年3月期	14,544	12,441	85.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 12,399百万円 28年3月期 12,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,200	0.4	60	4.2	120	0.0	80	15.9	4.49
通期	42,000	0.8	190	3.7	300	0.0	200	15.1	11.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	19,269,000 株	28年3月期	19,269,000 株
29年3月期1Q	1,454,675 株	28年3月期	1,454,219 株
29年3月期1Q	17,814,657 株	28年3月期1Q	17,816,294 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、消費税増税の延期など内需に関する政府の経済政策により、緩やかな回復基調を持続しております。しかし、英国の欧州連合離脱問題を受け円高が進むなど不安定な国際情勢により、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、天候不順による水産物の不安定な漁獲状況、それに伴う仕入単価の上昇により入荷数量が減少するなど、厳しい経営環境となりました。

この結果、売上高は、卸売部門が販売単価は上昇したものの、取扱数量の減少による減収に加え、飼料工場が養鰻業者の需要減で減収となるなど全体で9,810百万円(前年同四半期比1.9%減)となりました。利益面については、売上の減少による売買利益の減少と販売管理費の増加により49百万円の四半期純利益(前年同四半期20.9%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、ツバス、天然ヒラメ、貝柱が不漁で入荷減となり、生鮮キハダが搬入減により売上減となりましたが、カツオ、養殖ブリ、生鮮マグロのロインが入荷増となり、冷凍本マグロが漁獲量の増加による安値で販売数量を伸ばし、ウナギが単価高により増収となりました。

冷凍魚は、冷ズワイガニが単価高で販売数量の減少となりましたが、冷キンメダイの原料販売の増加、冷タラバガニ、冷ムキ紋甲イカの売上増により増収となりました。

塩干魚は、納豆製品、ブランド色のある餃子の販売が好調で売上増となりましたが、卵製品の値上げ、半ペイ類の取扱数量の減少、チリメンの不漁、カラスカレイ、開アジの原料高騰による販売不振、塩サバの原料不足により減収となりました。

この結果、売上高は9,188百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業利益74百万円(同24.0%減)となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料は、輸出用飼料が販売先のシラス池入れ量の遅れと、円高の影響による単価高で販売数量が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は320百万円(前年同四半期比29.6%減)、営業利益は17百万円(同44.0%減)となりました。

(食品加工場部門)

ポット商品は問屋からの受注が増加し、新規アイテムの串足が量販店の取扱増加により伸長し、切イカが新規販売先の開拓で売上を伸ばし、増収となりました。

この結果、売上高は120百万円(前年同四半期比30.6%増)、営業損失は6百万円(前年同四半期は営業損失12百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

市場内貨物の入庫が減少しましたが、コンビニ向け冷食が順調な入庫で取扱増となり、同業他社の再保管も順調にあり、増収となりました。

この結果、売上高は152百万円(前年同四半期比6.5%増)、営業利益は24百万円(同52.6%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は28百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益は16百万円(同4.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、14,776百万円となり、前事業年度末に比べ232百万円(1.6%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少226百万円などがありましたが、原材料及び貯蔵品の増加258百万円、商品及び製品の増加114百万円、有価証券の増加100百万円などによるものであります。

負債は、2,377百万円となり、前事業年度末に比べ274百万円(13.1%)増加しました。これは主に、買掛金の増加266百万円によるものであります。

純資産は、12,399百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円(0.3%)減少しました。これは主に、利益剰余金の減少39百万円、その他有価証券評価差額金の減少3百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成28年5月12日発表の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,257,859	2,031,116
受取手形及び売掛金	1,719,302	1,703,771
有価証券	3,600,000	3,700,000
商品及び製品	1,033,579	1,147,991
仕掛品	51,638	73,459
原材料及び貯蔵品	402,748	660,930
その他	67,320	69,597
貸倒引当金	△8,997	△8,893
流動資産合計	9,123,452	9,377,974
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	937,941	918,561
その他(純額)	735,715	732,981
有形固定資産合計	1,673,657	1,651,543
無形固定資産	13,991	13,229
投資その他の資産		
投資有価証券	3,251,397	3,250,467
その他	504,543	512,002
貸倒引当金	△22,341	△28,333
投資その他の資産合計	3,733,598	3,734,136
固定資産合計	5,421,247	5,398,909
資産合計	14,544,700	14,776,883
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,162,026	1,428,724
受託販売未払金	105,523	92,616
未払法人税等	51,495	24,991
賞与引当金	56,100	16,060
役員賞与引当金	13,370	—
その他	167,883	271,750
流動負債合計	1,556,398	1,834,142
固定負債		
退職給付引当金	446,315	436,389
その他	100,191	107,105
固定負債合計	546,507	543,495
負債合計	2,102,905	2,377,637

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,148,830	10,109,480
自己株式	△592,238	△592,350
株主資本合計	12,052,363	12,012,901
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	389,430	386,344
評価・換算差額等合計	389,430	386,344
純資産合計	12,441,794	12,399,245
負債純資産合計	14,544,700	14,776,883

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	10,004,585	9,810,805
売上原価	9,529,369	9,341,831
売上総利益	475,216	468,973
販売費及び一般管理費	433,028	443,134
営業利益	42,188	25,839
営業外収益		
受取利息	2,967	3,424
受取配当金	29,221	29,151
その他	11,862	11,910
営業外収益合計	44,051	44,486
営業外費用		
雑損失	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	86,239	70,325
税引前四半期純利益	86,239	70,325
法人税、住民税及び事業税	32,758	26,813
法人税等調整額	△9,404	△6,211
法人税等合計	23,353	20,601
四半期純利益	62,885	49,723

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,285,227	455,920	92,091	143,649	27,697	10,004,585	—	10,004,585
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,463	—	2,710	24,740	—	53,914	△53,914	—
計	9,311,691	455,920	94,802	168,389	27,697	10,058,500	△53,914	10,004,585
セグメント利益 又は損失(△)	98,376	31,190	△12,859	16,081	15,860	148,649	△106,461	42,188

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△106,461千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,188,321	320,793	120,272	152,995	28,422	9,810,805	—	9,810,805
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	34,324	—	6,588	26,947	—	67,860	△67,860	—
計	9,222,645	320,793	126,860	179,943	28,422	9,878,665	△67,860	9,810,805
セグメント利益 又は損失(△)	74,788	17,456	△6,095	24,544	16,571	127,265	△101,426	25,839

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△101,426千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。